

新型コロナウイルス情報 第2報「コロナ禍での技師会活動」

鹿児島県臨床検査技師会 会長 有村 義輝
元鹿児島市医師会病院 診療支援部 参与

新春のお慶び申し上げます。

鹿児島市医師会の先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から鹿児島県臨床検査技師会の運営に際しまして、心温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。さらに、昨今のコロナ禍により社会活動が制限される中で、日々、医療の現場で新型コロナ感染対策に尽力されている先生方に深く感謝申し上げます。

さて、前回、緑陰随筆特集号において新型コロナウイルス情報として細菌とウイルスの違い、新型コロナウイルス検査の種類、ワクチン等について掲載いたしました。今回は、第2報として新型コロナウイルス感染症の拡大によりPCR検査等の検査体制の強化、拡充が求められている中、その要請に応えるため、検査技師会は行政と連携して情報共有を図り活動してまいりましたのでその内容を掲載いたします。

県内の発生状況として3月26日に第1号、その後クラスター等発生し陽性患者629件（11月30日現在）で右肩上がりの推移であります。活動として6月12日に鹿児島県における新型コロナウイルス感染症に係る対応策状況アン

ケート調査を行いました。17施設（公的施設：6施設、医師会施設：4施設、民間施設：7施設）にて実施し結果は表1の通りです。

入館チェックの内容として13施設が検温、症状、県外等をなされ、面会条件は全施設において実施されておりました。発熱外来におきましては、12施設にて運用され5施設が設置なしでした。また、コロナ検査体制（3種類：PCR、抗原、抗体）では10施設において検査実施され6施設が導入検討中であります。

さらに、PCR検査の拡充として鹿児島県から「新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査研修」について委託事業を承り、9月13日に鹿児島県のPCR等基礎研修修了者の40人を対象として実技講習会を開催しました。機器の新設または行政検査、両方を受講目的とするのが2/3以上であった為、最新機器の原理と機器紹介、及び感染防護具の着脱練習を行いました。装着に際して、フェイスシールドの組み立て、手洗いから防護衣着脱練習、マスク、キャップの耳出し、手袋の二重着用、袖露出などを実技研修し、特に最も重要な事項としてウイルス付着を意識した脱着方法を実習しました。

表 1

| 県内17医療施設での調査 | あ り | | な し | |
|--------------------|-----|-------|-----|-------|
| | 施設数 | 割 合 | 施設数 | 割 合 |
| 1. 入館チェック | 13 | 76.5% | 4 | 23.5% |
| 2. 面会条件 | 17 | 100% | 0 | 0% |
| 3. 県外・海外滞在歴がある方の受入 | 11 | 64.7% | 6 | 35.3% |
| 4. 発熱外来の設置 | 12 | 70.6% | 5 | 29.4% |
| 5. 検査体制について | 4 | 23.5% | 13 | 76.5% |
| 6. 県外への学会・研修会への参加 | 5 | 29.4% | 12 | 70.6% |

(2020年6月12日調査)



9月13日感染防護具着脱実習

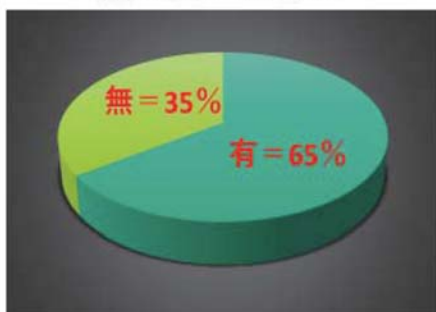
さらに、9月中旬に、現在のコロナ禍において各施設でどのような方法でPCR検査を実施または実施予定か第2回のアンケート調査をいたしました。第3波に向けて各医療機関がどのような体制で検査を実施するかの情報を共有化するため、さらに、新規に検査導入する施設の診療支援として活用する目的でPCR検査体制アンケート調査を実施しました。調査は県内103医療施設にお願いし、43施設(42%)に協力をいただきました。結果を下图に示します。

今後は、臨床検査技師の責務として、検査の際には感染防止・感染予防に十分注意し、偽陽性/偽陰性を防ぐために検査技術と学術知識の向上を図り検査の検査精度に努めて参ります。

医療機関の診療部の先生方が我々に求められることは、迅速な検査結果、かつ、正確な結果を提出することであることから、必要かつ頼れる臨床検査技師として受動的から能動的体制へと積極的に取り組んでいきます。さらに、コロナ禍での社会環境ですので、新しい医療社会の未来の為に、検査技師の医療技術を新生させ未来を拓く精神でこれからも前向きに活動してまいります。

結びに、検査を通して検査技師会としての機能を十分に発揮し、鹿児島市医師会の先生方の診療支援チームの一員として活躍できる臨床検査技師の育成に努めるべく、技師会活動を行う所存でありますので、より一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

検査実施の有無



- ・新型コロナウイルスの検査を行っている施設は28/43施設65%でした。

実施検査の種類



一番多い検査が抗原定性検査20施設(45%)、続いてPCR検査16施設(36%)、抗体検査は6施設(14%)、抗原定量検査は2施設(5%)でした。

アンケート調査期間：2020年8月29日～9月10日 13日間